

「内貨転用」と「CRU」を 組合わせた取組み事例の ご紹介



 濃飛倉庫運輸株式会社
<http://www.nohhi.co.jp>



 Nohhi Logistics Co.,Ltd.

取組みを行うに至った背景と目的

■ 株式会社しまむら

- 改正省エネ法特定荷主（取扱物量が多大）
- 将来的なトラック乗務員不足による輸送力安定化対策
- CSR

■ 濃飛倉庫運輸株式会社

- 輸入デバン後に空になった海上コンテナ年間1000本以上の再利用
- しまむらに対する継続的な物流改善提案の必要性

■ ジェイアール貨物・インターナショナル株式会社

- 海上コンテナ専用列車の積載率向上
- 東北地方の輸出者とのラウンドユースマッチング率向上

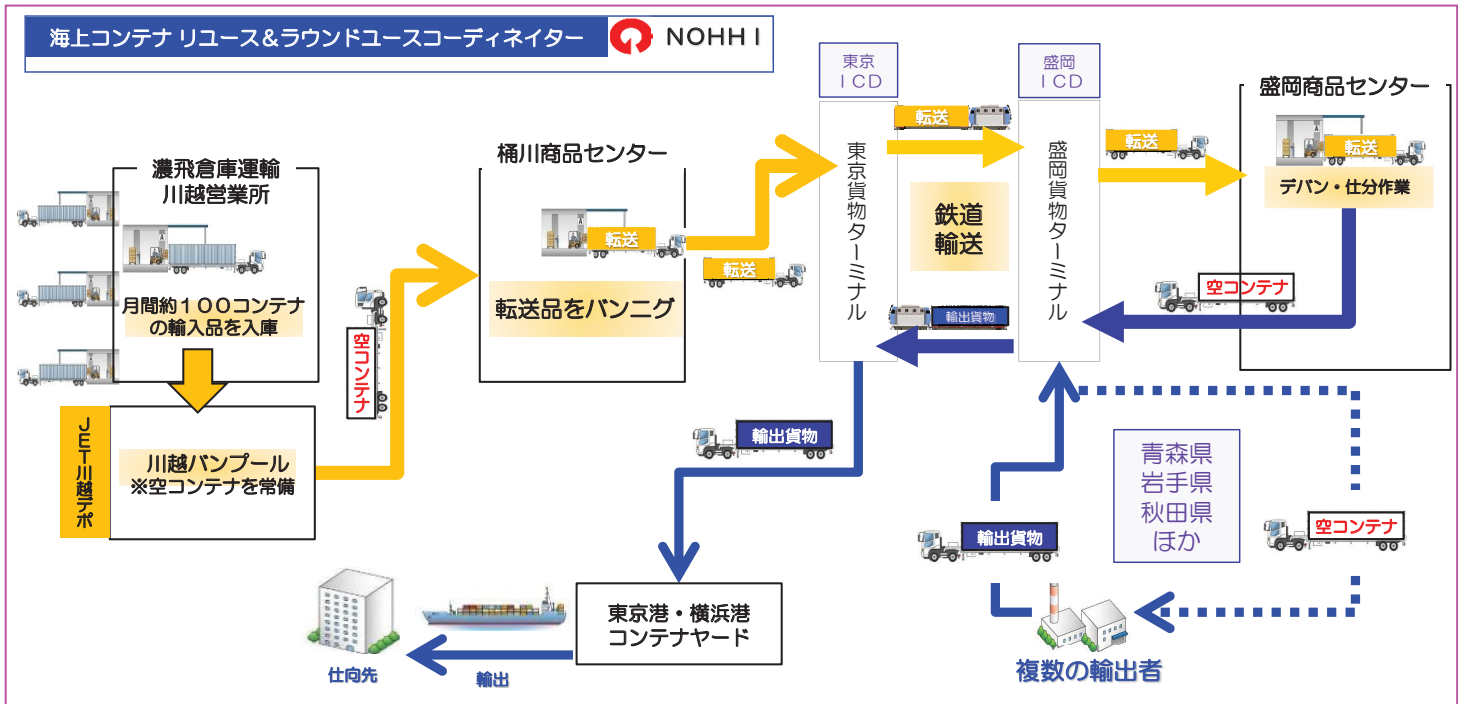
■ 日本高速輸送株式会社

- 輸入デバン後に空になった海上コンテナの再利用
- 乗務員の労働環境改善

 Nohhi Logistics Co.,Ltd.

取組みの概要とCRUのフロー

- 濃飛倉庫運輸川越営業所にてデバン後にJ E T川越デポに常備する空コンテナを桶川商品センターで「ラウンドユースコンテナ」として「盛岡商品センターへの転送に活用」する一連の流れ
- 盛岡商品センターでデバン後の空コンテナは東北地方の複数の輸出者が輸出用コンテナとしてリユースする



しまむら、輸出者、物流業者のチームプレーによるCRU

内貨転用 発地の作業状況 しまむら桶川商品センター

- 入場・接車 8:00頃
- バンニング作業開始 8:15頃
- バンニング作業完了 10:30頃



内貨転用 鉄道輸送時の作業状況

- 東京貨物ターミナルに到着
13:20頃
- 貨車に積載完了
13:40頃
- 東京貨物ターミナルを出発
17:14
- 盛岡貨物ターミナルに到着
翌4:14

東京貨物ターミナル



盛岡貨物ターミナル



内貨転用 着地の作業状況 しまむら盛岡商品センター

- 入場
11:30頃
- 接車
12:00頃
- デバン開始
12:05頃
- デバン完了
12:30頃



成立のポイント

外部環境の活用	ロケーション	①川越インランドデポが国内転用の「発地しまむら桶川」付近 ②盛岡インランドデポが国内転用の「着地しまむら盛岡」付近
	インランドコンテナデポ	「川越デポ」と「盛岡デポ」の2箇所を活用した取組み
	コンテナ	輸入デバン後に利用するコンテナが常時高品質・本数が安定
	海上コンテナ専用列車	①40FHQ積載が可能 ②東京貨物(夕)発送日の翌日早朝には盛岡貨物(夕)に到着
内部努力	関係各社の歩み寄り	①しまむら バンニング・デバンニング作業を自営化 ②JRF I 輸出マッチング不成立のリスク受け入れ ③JET デポ契約船会社と連動したデポ利用融通
支援	補助金による後押し	①国土交通省 H27年度モーダルシフト等推進事業認定 ②埼玉県 SCRUI調査費用
幹事	トータルコーディネート	関係各社がオールウィンとなる調整 物流のコスト×スピード×品質にCSRをプラス

課題と埼玉県へのお願い

課題

- ・現行費用との比較では物流コストUPになる要素が多い
- ・国や県のCRUに関する補助金は一時的な補助であり継続的な取組み支援には不適切
- ・総論賛成・各論反対
- ・物流コストの捉え方が物流単体の狭い視野になりがち
- ・今以上の物流コスト削減は困難

お願い

内貨転用(CRU)に取り組む企業に節税効果を与える政策の検討・立案

ご提案

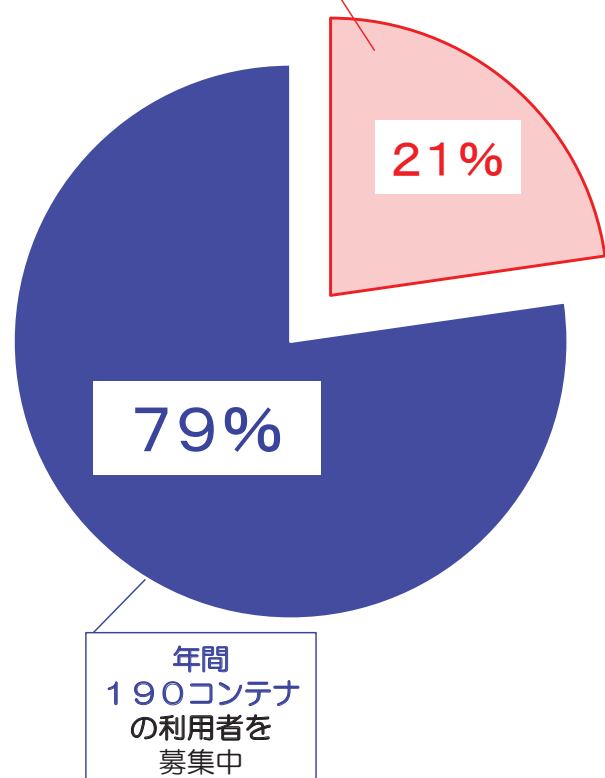
内貨転用(CRU)を一定の回数実施した企業に対する法人に掛かる税金の減税措置

期待できる効果

- ・減税部分でコストUPを補うことによって継続的な利用につながる
- ・企業経営陣が関心をもつことによる利用者拡大の加速化

今後の取り組みについて

しまむら
2017年度利用計画
年間50コンテナ



海上コンテナ40FHQのAグレードを関東⇄東北で年間240コンテナ国内転用できる物流サービス。

(2016年2月時点)

しまむらの事業計画では同サービスの利用は今後緩やかに向上する見込み。

そこで現在、しまむら以外に同サービスをご利用頂ける企業を広く募集しています。

関東から東北への国内輸送についてお困りの方はお気軽にお声がけ下さい。

幅広いご要望にお応えできるようなサービスメニューを鋭意検討しております。

 Nohhi Logistics Co., Ltd.

お問合せ窓口

本日は貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。

ご不明な点などのお問合せはご遠慮なくお申し付け下さい。

柔軟・積極的に対応を検討させていただきます。

ご検討いただける場合には、**費用負担の非常に少ない**
テスト輸送のキャンペーンも合わせてご案内させていただきます。

お問合せ窓口

濃飛倉庫運輸株式会社
営業開発部 営業企画課(東京駐在)
担当：市川尚史
TEL：03-3273-5851
E-mail：takashi.ichikawa@nohhi.co.jp



 Nohhi Logistics Co., Ltd.